慣用句(初級)プリント22（ルビつき）

月　日　名前 _____

問1　「目を疑う」の意味はどれですか？

1. 相手をじろじろと見る
2. 視力が悪くてよく見えない
3. 信じられないものを見て驚く
4. うそをついてごまかす

問2　「耳をそろえる」を慣用句の意味で正しく使っている文はどれですか？

1. 耳をそろえて寝ると、よく眠れる。
2. 耳をそろえて聞かないと、内容が分からない。
3. 二人の耳をそろえて並ばせるとそっくりだ。
4. 借りていたお金を耳をそろえて返済した。

問3　ぼくは甘いものに（　）がない。（　）に入る言葉はどれですか？

1. 鼻
2. 目
3. 口
4. 耳

問4　料理の（　）を磨くために毎日練習する。（　）に入る言葉はどれですか？

1. 腕
2. 腰
3. 足
4. 肩

問5　「棚に上げる」の意味はどれですか？

1. 高い目標を立てて、それに向かって努力する
2. 自分の手柄をみんなに自慢して見せびらかす
3. 自分の欠点や失敗を問題にせず、知らん顔をする
4. 高いところにある棚に、大切なものを置く

問6　「骨を折る」の意味はどれですか？

1. 体の一部を強くぶつけて痛める
2. 自分の利益のために ずるいことをする
3. 一生けん命に努力や苦労をする
4. あきらめて途中で やめてしまう

問7　「虫の知らせ」を慣用句の意味で正しく使っている文はどれですか？

1. 嫌な予感がしたのは虫の知らせだったのかもしれない。
2. 虫の知らせがうるさくて、夜に眠れなかった。
3. 虫の知らせを聞いて、急いで家に帰った。
4. 庭に虫の知らせが飛んできて花にとまった。

問8　「手を焼く」の意味はどれですか？

1. 火でやけどをする
2. あつかい方が分からず困る
3. 一生けん命働く
4. 料理を上手に作る

問9　「舌が回る」の意味はどれですか？

1. あまりのすごさに感心する
2. 相手をだましてひどい目にあわせる
3. うそをついてごまかす
4. 次から次へとよくしゃべる

問10　楽しい会話に（　）を差してはいけない。（　）に入る言葉はどれですか？

1. 酢
2. 水
3. 油
4. 塩

問11　「板につく」の意味はどれですか？

1. その仕事や服装が、その人にぴったり合っていること
2. 板を壁にしっかりと固定すること
3. 新しい仕事に慣れて、失敗すること
4. 板の上にしっかりと立って動かないこと

問12　「油を売る」の意味はどれですか？

1. 料理のために油を買いに行く
2. 一生けん命に働いてお金をかせぐ
3. お店で商品を売って利益をあげる
4. 仕事や用事の途中でむだ話をして時間をすごす

問13　「犬猿の仲」を慣用句の意味で正しく使っている文はどれですか？

1. 犬猿の仲の二人は、とても仲良しな兄弟だ。
2. 犬猿の仲を解消するために、動物園へ行った。
3. 性格が合わず、二人はいつも犬猿の仲だ。
4. 犬猿の仲なので、二人はいつも一緒に遊ぶ。

いちごドリル プリント

つづきの無料プリント
「慣用句」のプリント一覧がひらきます

慣用句(初級)プリント22（ルビつき）　答え合わせ・解説

問1　答え 3　信じられないものを見て驚く

「目を疑う」は「信じられないものを見て驚く」という意味です。

問2　答え 4　借りていたお金を耳をそろえて返済した。

「耳をそろえる」の正しい使い方は「借りていたお金を耳をそろえて返済した。」です。 意味は「必要な金額をすべて用意する」です。

問3　答え 2　目

「目がない」の「目」の部分が入ります。 意味は「あるものに夢中になるほど好きだ」です。

問4　答え 1　腕

「腕を磨く」の「腕」の部分が入ります。 意味は「技術や能力をさらに高めるように努力する」です。

問5　答え 3　自分の欠点や失敗を問題にせず、知らん顔をする

「棚に上げる」は「自分の欠点や失敗を問題にせず、知らん顔をする」という意味です。

問6　答え 3　一生けん命に 努力や 苦労をする

「骨を折る」は、何かをするときに苦労したり、力を尽くして一生けん命努力したりするという意味です。

問7　答え 1　嫌な予感がしたのは虫の知らせだったのかもしれない。

「虫の知らせ」の正しい使い方は「嫌な予感がしたのは虫の知らせだったのかもしれない。」です。 意味は「悪いことが起こるような予感がすること」です。

問8　答え 2　あつかい方が分からず困る

「手を焼く」は「あつかい方が分からず困る」という意味です。

問9　答え 4　次から次へとよくしゃべる

「舌が回る」は「次から次へとよくしゃべる」という意味です。

問10　答え 2　水

「水を差す」の「水」の部分が入ります。 意味は「順調に進んでいることをじゃまする」です。

問11　答え 1　その仕事や服装が、その人にぴったり合っていること

「板につく」は「その仕事や服装が、その人にぴったり合っていること」という意味です。

問12　答え 4　仕事や用事の途中でむだ話をして時間をすごす

「油を売る」は「仕事や用事の途中でむだ話をして時間をすごす」という意味です。

問13　答え 3　性格が合わず、二人はいつも犬猿の仲だ。

「犬猿の仲」の正しい使い方は「性格が合わず、二人はいつも犬猿の仲だ。」です。 意味は「非常に仲が悪く、顔を合わせれば争う関係」です。